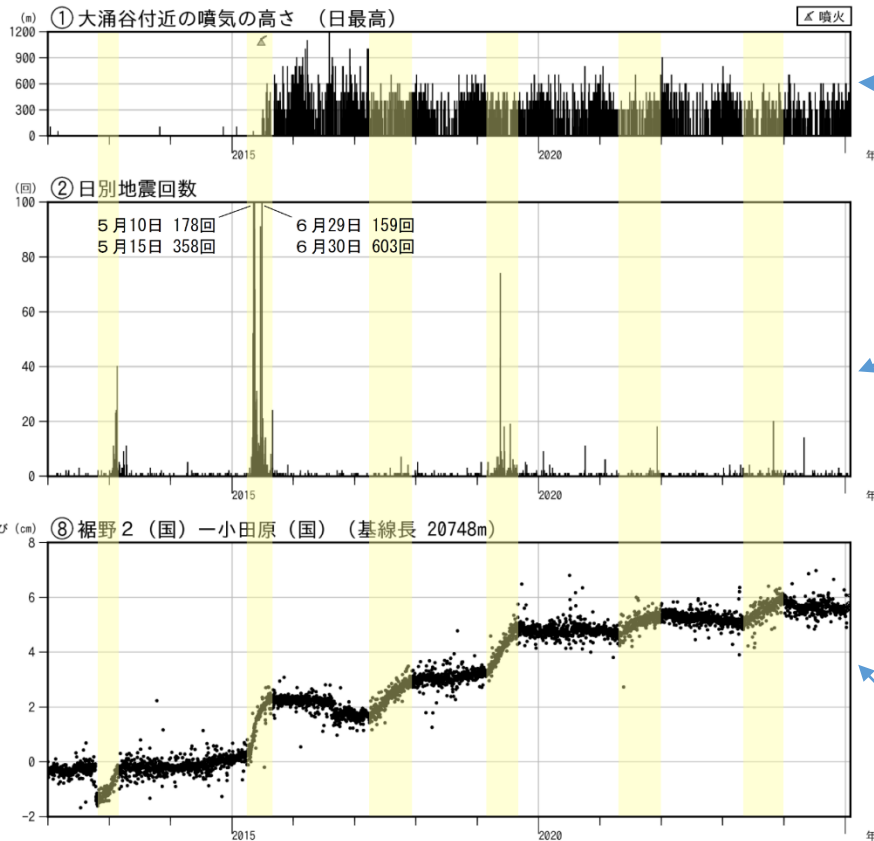


最近の箱根山の火山活動状況について

令和7年3月26日
気象庁

資料 1

- 地震活動は概ね低調に経過しましたが、2024年4月29日、2025年1月7日~13日に、火山性地震が一時的に増加しました。
- GNSS連続観測では、箱根山を挟む基線で2023年7月頃から伸びがみられ9月頃に鈍化しました。11月頃から再び一部の基線で伸びがみられましたが、2024年1月頃から停滞しています。
- 大涌谷周辺の想定火口域では活発な噴気活動が続いています。
- 噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。



火山活動経過図（2012年1月1日～2025年1月31日）

（国）：国土地理院 （温）：神奈川県温泉地学研究所
■：裾野2（国）-小田原（国）などのGNSS基線で伸びの変化を観測した期間

・2015年以降、活発な噴気活動が続いています。

・2020年以降、火山性地震は概ね少ない状態で経過しています。

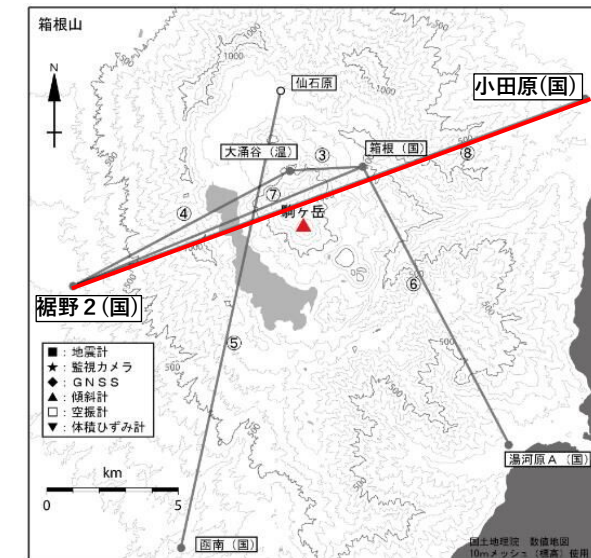
・2024年4月29日および2025年1月7日から13日にかけて、芦ノ湖の北西端付近で火山性地震が一時的に増加しました。

・GNSS連続観測では、箱根山を挟む基線で2023年7月頃から伸びがみられ9月頃に鈍化しました。11月頃から再び一部の基線で伸びがみられましたが、2024年1月頃から停滞しています。

・過去の活動期（■）には、裾野2（国）-小田原（国）等の基線で伸びの変化がみられています。



大涌谷の状況
（大涌谷監視カメラ）

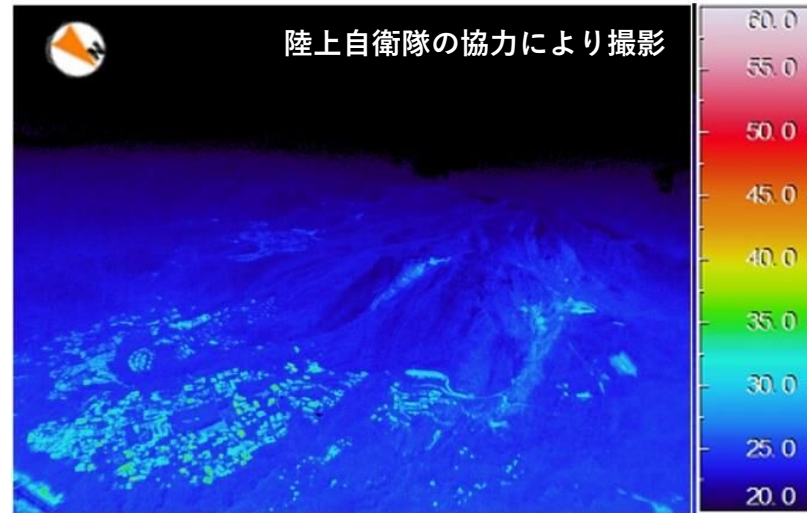


GNSS配置図
赤線は火山活動経過
図③に対応する。

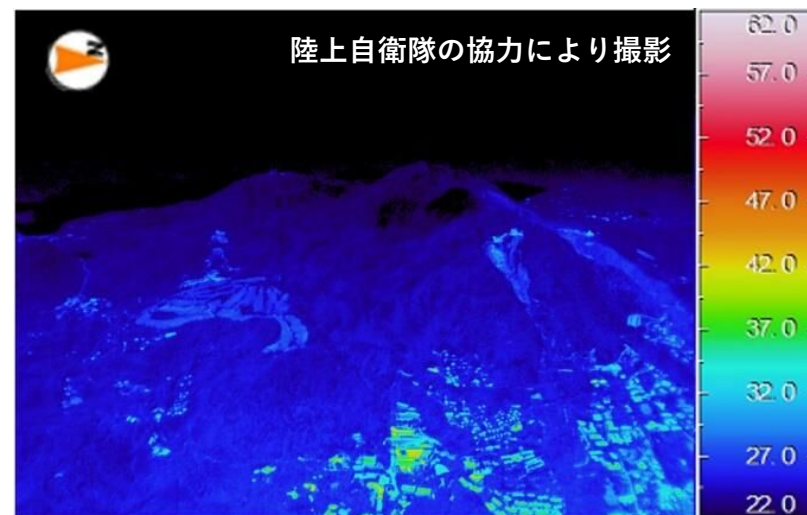
(参考)上空からの観測結果

令和7年3月26日
気象庁

- 2024年7月4日に陸上自衛隊東部方面隊の協力により、上空からの観測を実施しました。
- 大涌谷、早雲地獄、上湯場及び湯ノ花沢において、引き続き地熱域が観測されました。



箱根山カルデラ北側の状況（2024年7月4日、左：可視画像 右：赤外熱画像※）



箱根山カルデラ東側の状況（2024年7月4日、左：可視画像 右：赤外熱画像※）



各写真の撮影位置及び撮影方向

※日射の影響により、人工物、裸地等で表面温度が高く表示されています。

謝辞：
本観測にあたり陸上自衛隊東部方面隊にご協力いただきました。深く感謝いたします。